

熱中症に注意しましょう!!

7月から9月は特に注意が必要です(環境省 熱中症予防情報サイトより)

- 今年は新型コロナウイルス感染症対策との両立が必要となりますが、
防護具着用下での熱中症対策を取り入れていますか？
- 今年の夏も連日の猛暑となることが予想されますが、空調設備の
定期点検は実施されていますか？

新型コロナウイルスに対する感染対策として、マスクやガウン等の防護具を着用する機会が多い。

☆ 作業環境を整えましょう

- ☞ 作業時間の設定や交代等により無理のない作業時間とする
- ☞ 作業に応じて部屋の設定温度を調整する



☆ 体調管理をしましょう

- ☞ 朝食を摂って出勤しましょう
- ☞ 定期的に休憩を取り、自覚症状の有無にかかわらず水分(塩分)を補給
- ☞ 休憩場所に体温計や体重計を備えることで自身の身体状況が確認できる
- ☞ 患者さんの体温、血圧、水分出納量、食事量等いつも以上の注意をお願いします!!

新型コロナウイルスに対する感染対策として、窓を開放している

- ☞ 室温の上昇に注意して設定温度をこまめに調整する

裏面には空調設備の不具合により生じた事例を紹介しています。

施設管理の方必見です!!

空調設備の故障に注意しましょう!!

☑ 感染対策を取りつつ、持続的な作業を安心して行える環境が必要

👉 空調設備の定期的な点検を実施し、故障を未然に防ぎましょう

👉 空調機械の耐用年数等を確認し、買い替えについても検討しましょう

👉 突然の故障を想定した対応策を講じていただくことも重要です

《具体的な対応策》・置き型冷風機や扇風機を備蓄(これらの定期点検もお願いします)

・レンタル業者の確認や系列病院間での借用

・大量の保冷剤の確保等



事例1

2018年8月、岐阜県の病院でエアコンの故障による熱中症疑いで入院者が複数死亡する事故が起きました。この病院では、エアコンの定期点検をしておらず、修理に対しては業者から1か月かかると言われていたことが報道されています。

事例2

昨年、横浜市内では2件の空調設備の故障が発生しました。そのうちの1件は、中規模病院において、空調設備の故障により一部の空調を残してほとんどの院内冷房が停止しました。40台の壁掛け式扇風機・30台の床置き扇風機の導入やレンタルした20台の気化式冷風機を病棟及び院内各部署に設置して対応しました。さらに、1日2回の検温に加え、患者確認をいつもより頻回に行った結果、空調設備停止による体調不良者を出すことがなく復旧しました。この間、約10日間を要しています。

適切な温度、湿度が確保できない環境を想定した事前の

患者対策についても検討をお願いします。

環境省 熱中症予防サイト

(<https://www.wbgt.env.go.jp/>)

